

# I. 農機一般

## 1. トラクター

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
1	北海道	1	51	23	10	16		木	ブラウをトラクタに装着するためブラウのローワリンクヒッチをトラクタのローワリンクに取り付けようとしたところ、先に差し込んであった左手側が外れ落ちたため、右手の小指がローワリンクヒッチとローワリンクの間に挟まれた。	<input type="checkbox"/> ローワリンクヒッチの片方をローワリンクに差し込め、すぐにリンチピンで止める手順を定めていなかった。 <input type="checkbox"/> ローワリンクヒッチを持つ位置が悪かった。	<input type="checkbox"/> ローワリンクに差し込んだら、すぐにリンチピンを止めるようにしている。 <input type="checkbox"/> ローワリンクヒッチを持つ位置に気を付けている。	妻の運転で病院に向かい、2～3針の縫合施術を受けた。	右第5指切傷、末節骨折	通
2	北海道	1	54	25	8	11		金	トラクタから作業機を外す際、ユニバーサルジョイントが外れて落下し、クロスジョイント部に指が挟まった	落下防止に堪える強度を持っていない連れ回り防止用チェーンを使った	落下防止策として、ローワリンクに棒を渡しせば良いかも知れない	自分の運転で市立病院に向かい、即日、手術を受けた	右第5指第1関節骨折、第4指打撲	通
3	栃木県	1	60	25	8	11		一	オートヒッチの着いたトラクターに代掻きハローを装着しようとして、ローアリンクの上に乗って作業をしていて足の薬指と小指の間に、オートヒッチ受け手のフック先端が挟まる	トラクター側トップヒッチとハロー部フックが離れて装着できないためローアリンクに乗り油圧操作をした	慣れが招いた。作業機とハロー部フックが離れて装着できないためローアリンクに乗り油圧操作をした	事故直後はしびれがあった。指を動かすことは出来た。後で腫れたので湿布薬を1週間使用	右足薬指と小指のしびれと腫れ	一
4	新潟県	1	52	25	6	17		木	トラクターのバランスウェイト(前につける錘)を取り付ける金具を取り外しているときに金具が落下、手の甲に当たった。	金具を外すの初めてのことであり、金具を外すときボルトに引っかかってしまった。	今後バランスウェイトを装着しないことにした。	傷絆創膏を貼ったが血が止まらず、自分が運転して近くの医院で縫合手術を行った。	右手甲の切創	通
5	長野	1	81	25	3	10		木	トラクターのバケットを外し、ロータリーをつける作業中、シャフトを外しているとき、斜めから持ち上げる姿勢で力を入れて腰を痛めた。	無理な姿勢で持ち上げようとした。	垂直に持ち上げれば良かった。重いものは息子に頼んでいる。	自分で運転して近くの病院を受診。	第2, 3腰椎圧迫骨折	入
6	北海道	1	60	24	10	13		祭	トレーラをけん引した乗用トラクタが飼料用トウモロコシの収穫作業でサイロと圃場を往復していた。サイロから圃場へ向かう際、見通しの良い直線道路から道路沿いの圃場に進入するため右折しようとしたところ、後続車が猛スピードで追い越しをかけて来たため、急停止したが、後続車がトラクタの右前輪に接触した。	<input type="checkbox"/> 追い越しをかけた車両の運転者が、先行車両が複数台あったにもかかわらず、追い越し法令違反を犯し、先行車両の全長確認およびその行動を予測する対応を怠った。	<input type="checkbox"/> 遠回りになっても交通量の少ない道を通るよう指導徹底した。 <input type="checkbox"/> 頃から、朝礼でその日の作業についての安全ポイントを周知したり、声かけなどを行い、安全意識の向上を図っている。	なし	なし	一
7	新潟県	1	64	25	5	16		水	乗用トラクターで傾斜路を登坂中、前輪が浮いて右に旋回し25m下の水田に転落。事故者は途中の15m下の農道に転落して左手小指の骨折。	農道の傾斜は20～30度、転落したのは15～20度程度であった。雨が降り出し急いで走行していた。	農道幅は2.5mと狭く、圃場収入路も直角でないの、改善が必要と感じている。	事故直後手首から下が腫れ、その後も腫れが引かなかった。13日後別の治療での通院日に診察を受けた。	左手小指の骨折、頭部・腹部・腕の打撲	通

# 1. トラクター

連続 NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
8	富山	1	48	15	4	16	—	トラクターで圃場あら起こし後、昇降路から出ようとしてロータリーが潜り込み、前輪が45°以上浮き上がり転倒しかかった。	昇降路の傾斜は、7.5°、12°と特に急ではないが、水田と昇降路の境目は25°とかなりきつく、かつぬかるんだ田んぼで、後輪が潜り込んだ状態で、全林が浮き上がった。なお、ブレーキを踏んだが連結ロックがされていたので横転する事は無かった。	全体の昇降路の傾斜は特にきつくは無いが、特に境目の角度を緩くするため、昇降路をさらに延ばす必要がある。	特になし	無	—
9	長野	1	63	24	4	11	金	本来、人が歩くために作った自宅横の狭い通路でトラクターを運転して通行中、脱輪して転倒・転落。トラクターが本人の上を転がっていった。	狭い通路を無理をして通行した。	広い道を通ることにした。急がば回れ。	息子があらかじめ病院に連絡し連れて行ってくれた。X線、CT異常なし。	左腰部ならびに右胸部打撲	入
10	兵庫県	1	74	25	3	12	火	田んぼの荒耕しに出かけた。その帰り道と思われるが、田んぼより1.2m高い農道から転落した。	幅員を見誤りハンドルを急速にきりすぎたのでは？と推測される。シートベルトをしていなかった。	面倒でも必ずシートベルトをする。	午後2時頃、近所の人(同じ営農組合)が農作業に出かけた時に発見し、119番通報した。救急車で病院に搬送されたが約1時間半後に亡くなった。	死亡	死亡
11	長崎	1	44	25	10	夕方	—	1連のレーキ付きトラクターで圃場に向う途中、30°の鋭角の角を曲がる時、ハンドルを切りすぎて、少し下がった地点の左側の石積みの壁に左前輪をぶつけ、その反動で、右側に車体が飛ばされ、そのまま、右側の崖下にトラクターもろとも数回転して墜落した。トラクターは、仰向け、左前タイヤはパンクしていた。	トラクターのパワステの油切れで油圧が正常ではなかった可能性があり、ハンドル操作がうまくいかなかった。かなりのスピードを出して急ハンドルを切った可能性もある。	不具合を感じた時点で、パワステの油圧点検をしておく必要があった。けば良かった。鋭角の角をゆっくり切り返せば、ぶつかるとは避けられた。	7m下にトラクターとも転落したが、落ちた場所に草が茂っており、体を少し打つた程度でほとんど無傷。	全身打撲	—
12	宮崎	1	67	23	12	16	月	棚田地帯で次の水田に移動する際、鋭角な角を曲がりきれず、一旦バックしようとしたら、そのまま9m下の崖下に転落。死亡した。	道路には草が繁茂しており、境がよく見えなかった。そのため、鋭角な角もよく分からず、バックする道路幅もよく分からなかった。また、夕方で薄暗くなっていたことも影響したものと思われる。	なくなる前に道路舗装を希望されていた道路が、見事にアスファルト舗装されていた。これなら事故は起こらなかったのにと残念であった。	奥さんが悲鳴を聞きつけて事故を確認。すぐに携帯電話で、おじさん、面談者のいとこさんに連絡。また救急車を要請。途中までおじさんが車で運び、途中から救急車に乗せ病院へ搬送したが、死亡が確認された。	死亡	死亡

# 1. トラクター

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
13	三重	1	71	25	3	10	水	20Lのポリタンクの給油缶に一杯に軽油を入れて、50馬力のトラクターのボンネットの給油口に給油していた。直径83cm・幅20cmのタイヤに両足で乗って、給油缶を高さ143cmの高さのボンネットに置こうとした時、タイヤが土で滑りやすく、滑り、給油缶を持ったまま、後方にバックドロップのように給油缶を抱えたままコンクリートに墜落した。	給油する位置が高く、タイヤに乗って作業することになり、タイヤから滑りやすかったために転落した。	事故後、ドラム缶から直接給油できるようにホースを長くした。また、新しいトラクターの給油口は80cm下がった位置にあり給油しやすい。また、給油管には一杯に入れず何回かに分けて給油することも一案である。	通りかかった60歳代の女性が異変に気づき、奥さんに事態を告げ、救急車を呼び、医療センターに搬送された。CTを撮られたが特に異常がなかった。後頭部裂傷で、コンクリートは血の海だったとのこと。12針縫合。	後頭部裂傷	-
14	三重	1	65	15	4	14	-	午後からトラクターで縦54m、横45mの水田を春耕中、ついうとうととしてしまい、気がついたら前方の畦を乗り越え、その先の用水にトラクターの前輪が突っ込んでエンジンがかかったまま止まっていた。	とくに疲れていたわけではないが、単調な耕耘が続いていてメリハリがなく、エンジンの振動が丁度いい刺激となって眠気を誘ったようである。	ラジオなどをかけるのも一案。土手が近づいたら警告音が鳴るなどの工夫は出来ないか。	とくに治療はなし	なし	-
15	富山	1	64	24	5	11	日	水田でトラクターに乗って農作業中落雷。右胸、右脇が雷に打たれたように焦げていた。田圃にエンジンがかかったまま水路に脱輪したトラクターがあり、そばに八倉巻さんが倒れていた。心肺停止状態。現場は、早月川の河口近く。田圃が広がり民家が点在している。県内全体に雷注意報が出ていた。住民が田圃の水の状態を確認しに行ったところ、隣の田圃の用水で発見	当日の気象記録では、30分もしない間に一気に気圧低下、気温低下が起こっている。	急変した天気の際は、作業途中であっても避難する	死亡にて発見される。	落雷 感電死	死亡
16	長崎	1	29	7	4	16	-	頼まれて、用水に落ちたトレーラー（耕耘機牽引タイプ）をフロントローダーで引き上げようとして、フロントローダーもろとも用水に転落。用水の幅は2m、深さ1.7m、下敷きになってはいけないと思い、飛んだが、うまくいかなかった。幸い、ローダー部分のアームの空間にはまり、全荷重を受けることはなかった。	フロントローダーを設置した道路は下り坂で用水側にも傾斜しており、水平状態での設置が出来ず、耕耘機を釣り上げた時には、転倒しやすい状態であった。馬力が足りなかった。	「用途外使用」であることを認識し、他の方法を検討する必要がある。	要請者が近くの畑の人に救出を要請。その人が集落で棟上げ作業者を連れてきて、角材を梃子に救出。呼んであった救急車で搬送。X線で右肘のヒビを確認。28日入院。	全身打撲、右肘骨折	入

# 2. 草刈機

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
------	-----	----	----	---------	---	---	---	------	-------	--------	------	-----	-------------

17	千葉	1	60	22	8	14	—	雨上がりの午後、3.2mある法面を畦の上部からロングの刈払機（約30cm長い）で草刈り中、足が滑り法面を滑り落ちた。回転している刃に足が乗るように落ちたので、足の小指部分を約5cm切った。	午前中の雨で、水田法面や畦が滑りやすかった。長い刈り払い機であったが、法面が長いと、無理な姿勢になった可能性もある。	斜度は38°であったが、40°近くなると事故発生の危険がある。今回は雨あがりだったので、とくに滑りやすかった。スパイクや滑りにくい靴の開発が望まれる。	自分で車まで行き、ビニール袋で足を包むように縛って帰宅。休日だったので、消防署に電話をし、当番医を覚えてもらった。	左足薬指、小指間の切創	
18	長野	1	79	25	7	10	祭	土手に開けてある水取り入れ口に足を取られ、刈り刃が左足に当たって切れた。	安全靴は履いていなかった。刈り刃が反動でキックバックすることを周知徹底する必要がある。	防護メガネ、安全靴などの使用が必要であった。	かかりつけ医が海の日で休診日。近くの病院で7針縫合。	左足第2趾切創	通
19	長野	1	53	25	5	11	土	傾斜の強い（36～42°）の5.4mの土手で、草刈り中、滑って肩、背部を痛めた。	地下足袋を使用しているが、滑った。	小段の設置、安全靴、防護メガネ、ヘルメットなどの着用を薦めたい。	土曜日だったので月曜日まで我慢して整骨院を受診。	右肩、背部打撲	通
20	愛媛	1	62	25	5	10	日	土手の長さ50m、法面7.5m、傾斜角度は39°～50°。最初は横方向に刈り、次の段の横方向に刈ろうと、法面の中断に降りようとしたとき、法面が濡れており、一気に垂直方向で4.5m下の小さな滝壺のような所に落ちた。	法面が濡れており、滑りやすかった。	事故現場は、傾斜が40度以上あり、乾いた状態でも危険箇所であり、まして雨中の作業で有り、通常の長靴での作業であった。 小段の設置等根本的な対策が必要であり、かつスパイク靴の着用など、地域での話し合いなどが必要。スパイクなどの滑りにくい靴を履くことも	手がしびれたようになって動かなかった。歩いて車まで行って、受診。	肋骨骨折、左手首捻挫、左あご打撲	
21	滋賀県	1	35	23	8	10	—	草刈り機を使用して、道路横の溝の脇（牛舎前）を草刈り作業中、径2mm、長さおよそ15cmのL字型の鋼線が跳ね飛んできた。右脛に突き刺さり、先が貫通した。防具はしていなかった。	物がよく跳ね飛ぶことがあるような場所での草刈りで、防具をしていなかったこと。	事故現場は、いろいろなものが落ちていて草刈り機使用は危険なので、除草剤を使うようにした。	親の運転する車で近医に事故15分後に行った。麻酔なしで、30分くらいの治療	右下腿の前部から内側部への貫通傷	通
22	北海道	1	54	25	8	10	月	刈払機で排水路の法面を草刈り作業中、刈り刃のチップが欠け散って右手首を負傷	例年よりも草丈が高く、異物が隠されていた	草が伸びる前に異物を取り除く	自分の運転で病院へ行ったり	右手首貫入創	通
23	長野	1	79	25	9	7	火	排水口の溝を草刈り中、左側の畦に刈り刃が当たり、反動で右足下腿部を切った。	反動で刈り刃がキックバックした。	チップソーではなく、ヒモの刃なども検討する必要がある。	救急車を呼んだ。近くの病院では手に負えないということ大きな病院で縫合。	右前下腿挫創	通

## 2. 草刈機

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
24	岐阜	1	67	21	6	10	火	数日前に道路際の草刈りを数人で行った。事故当日、残り3m幅くらいの刈り残しの草刈りをしようとした。いつもは身につけるゴーグルも、わずかな時間で終わると思いきや、しなかった。開始わずか1分も経たないうちに、右目に何かが飛び込んで目が開けられなくなった。手で押さえて、手を見てもそんなに出血はしていなかった。また、痛みもそんなに感じなかった。	保護メガネ、ゴーグルなどを着けずに草刈りをした。わずかな時間という安易な気持ちもあった。	草刈りのときは、ゴーグル、フェイスガード、保護メガネなどは必須である。どんなに短い時間でも、いつも事故が潜んでいることを自覚する必要がある。	近くにいた仲間に事故にあったことを伝え病院につれて行ってもらった。ここでは手に負えないということで医大に娘につれていってもらった。2日間抗生物質を点滴して、落ち着いてから手術をした。右目にチップソーが2個入っていた。2ヶ月後歯科で義眼をつくってもらった。治療に約4年かかった。	右目失明	入
25	鹿児島	1	19	24	4	10	日	法面で、背負い式の刈払機で草刈り中、回転刃が土の塊ではねて、左足中指を切った。	背負い式の刈り払い機では、とくに刈る方向によってキックバックしやすい。今回も土の塊で回転刃が跳ねて切った。	初めて就農する者の、教育をいかにするか、どの段階で次のレベルの作業をしてもらうか等のプログラムも考える必要がある。安全靴の使用も重要。	すぐ近くの仲間も草刈り中で、大声で叫んだが聞こえず、直接仲間に事故に遭った事を伝え、ダンプで約30分のところの病院に連れて行ってもらった。その間、テッシュで傷口を押さえて行った。約4針縫合した。現在、特に違和感はない。	右足中指切創	-
26	新潟県	1	65	25	8	16	月	草刈機の刃に針金が引っかかったので、左手で取ろうとしたとき、回転刃が完全に止まっていなく、草刈機が跳ねて左手に当たってしまった。	草刈機はスロットルから手を離すと回転刃が自動に止まるものであった。スロットルが持ちにくいのでテープで巻きつけてあった。	固定してあったスロットルのテープを外した。	タオルで止血をして自分で運転して近くの病院に行ったが、皮の縫合手術が必要とのことでタクシーで転院した。	左手中指・薬指の切創	通
27	三重	1	24	25	8	9	月	雨の日、草刈りをしていいたとき、葛のツタが刈り刃に絡まり、スロットルを落としてツタを取ろうとしたら、手が滑りスロットルが全開状態になり、左手人差し指を切った。	ツタの多い雑草を雨の滑りやすいときに刈らざるをえなかった。	ツタなどの植生を変える必要がある。また、雨の日の草刈りは避けた方がよい。	事故発生後、オーナー夫人に電話し、タオルで指を巻き付け、自分で乗ってきた軽トラに乗って自宅に帰り、オーナー夫人に海生病院に連れて行ってもらった。病院ではすぐに、15針の縫合し、約2週間で抜糸した。	左手人差し指座減創	-

## 2. 草刈機

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
------	-----	----	----	---------	---	---	---	------	-------	--------	------	-----	-------------

28	福島県	1	55	25	7	11	日	集落の共同作業として「ため池」周辺の草刈り作業中、安全に草刈りをするスペースが少ない場所で、初めて作業した者が足を滑らせ、「ため池」に転落した。幸いにもすぐに仲間に取り上げられ、怪我などはなかった。	①刈払いの基本動作と逆の「左から右」にチップソーを動かしながら前進 ②ため池周辺のフェンス内側にある足場は狭く池側に傾斜していて不安定 ③フェンスの上部が内側に傾いていたため、背負式の刈払い機の作業スペースがなかった	①安全に作業を行う技術と知識を先輩が後輩に継承する ②特に危険な場所での作業は、慎重かつ、時々視線を上げて周囲を確認する気持ちと身体の余裕が必要 ③危険箇所での作業は1人では絶対に行わない ④危険箇所での作業者の状況を確認できるよう視野に入れる配置 ⑤フェンスの傾きだけは、すぐに直す	なし	なし	-
29	栃木県	1	50	25	8	15	火	ウイングモアで水田畔の草刈りを傾斜がある場所で、手で2~3回前後に動かし方向変換を行った時、斜面より転落し、排水路にモアと一緒に落ちる	用水堰につながるコンクリート橋と金属製手すりがあり、反対側も斜面であった。旋回場所には不向きな所	旋回場所は障害物の無い場所にする	周辺には人がいなかったので自力で機械を押し上げ、自宅まで草刈り作業をしながら戻る	右乳首下打撲（肋骨にひびが入った可能性有り）	-
30	鹿児島	1	44	25	4	8	火	エンドウ畑の除草をしようとして、自走式草刈機を軽トラックから、橋板を使って下ろすとき、橋板がずれたので直そうとハンドルを持ち上げて、手を伸ばしたとき、ハンドルが頭上を直撃、切創。	他の機械の積み降ろしでは、アルミ製のものを使うのだが、この草刈機は、車輪が滑り止めのスパイクがついているので、木製のものを使用したのが、軽トラ側が高くなり、ずれやすかった	軽トラ側に出っ張りを解消するような部材の設置、また、橋板の地面側に地面に突き刺さるような構造など、さまざまな工夫改善が必要と考えられた。	脳震盪を起こした訳でも無かったが、手を頭部に当てたら血がべったりとついた。すぐに病院行った。レントゲンも撮らず、消毒とガーゼだけで縫合せず。その後特に問題はない。	頭部切創	-

### 3. コンバイン等（自脱コンバイン、ハーベスター、普通コンバイン）

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
31	岩手県	1	55	25	10	14	金	稲収穫後のコンバイン清掃中、フィードチェーンのテンションに藁が巻き付いて挟まっていたので手で引っ張って取ろうとしたところ、逆に引っ張られて左手の人指し指を巻き込まれ、指先を1cm程切創した。	エンジンをかけたまま作業した。藁はすぐ取れると思いきや油断した。	エンジンを停止して作業を行うようにする。	血はあまり出ず、すぐ家に帰り自分で止血。病院に電話後、息子の運転で15時30分頃病院に到着、すぐに診察してもらった。指先を消毒し局所麻酔を打って3~4針縫った。	左手人差指切創	通

32	北海道	1	70	24	10	9	火	大豆コンバインで収穫中、レシプロモーターが詰まったため、機械を止めずに取り除こうとしたところ、左手人差し指を切った	機械を止めずに詰まりを除去しようとした	必ずエンジンを止めてから除去する	翌日に病院で診断してもらった	右手第2指先端の切創、第1関節骨折	入
33	長野	2	61	20	10	13	火	靱を送りあげる部分に小石が詰まったと思い、ボルトを外し、ふたをしようとしたとき、軍手の先が回転部に絡まって指の先をもぎ取られた。	エンジンを止めなかった。もうちょっとの思い。過信もあった。	エンジンを止める。もうちょっとでも危険は同じ。	救急車嫌だといって、ご主人の車で受診。結ぶ、解くなどは特に不自由。	左第2指第1関節部切断	入
34	長野	1	61	25	11	14	土	ハーベスタの稲束排出ローター部に藁が1本あったので、取ろうとしてベルトに挟まれ右第2指の先端を負傷した。	一人作業者が少ないことも焦りにつながった。ローター一部の1本の藁が気になって、何気なく手を出した。	ベルトがある部分には必ずカバーをつける必要がある。	自分で運転し自宅に戻り、近くの病院に電話をしたが、外科医がいないということで大きな病院を受診した。	右第2指末端部挫創	通
35	新潟県	1	63	25	9	10	土	コンバインの刈取りチェーンに1株の稲が残っていたので、脱穀しようとして手こぎ作業を行っていたとき、稲押しさが下がり左手が挟まれそのまま脱穀チェーンに挟まれた。	稲押しさが途中で止まっており、稲が送られたときに稲押しさの先端に稲が引っかかり稲押しさが下がり左手を挟まれた。	稲押しさを所定の位置まで上げたのを確認して手こぎ作業を行う。	持っていた携帯電話で救急車を呼んだ。近くの消防署の救急車が出動しており、救急車が来たのは50分後であった。	左手間接開放脱臼・骨折、中手骨骨折	入
36	北海道	1	48	23	9	10	火	自脱コンバインが枕地での旋回中、畦畔から逸脱して下の水田に転落	畦畔に寄りすぎてバックしてしまい、後方確認しなかった。	作業委託するようにし、トラクタ作業でもは場縁には近寄らない。	近くで作業していた両親が救急車を呼び、迅速に病院に搬送できた。	肋骨骨折6箇所、脊椎棘突起骨折2箇所、肝臓圧迫	入

### 3. コンバイン等（自脱コンバイン、ハーベスター、普通コンバイン）

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
37	千葉	1	75	25	8	10	木	長さ83m×36mの30aの圃場、2条のヤンマーのコンバインで長い方の83m側を刈り、次いで36m側に曲がるため、3度隅で刈り込んだ。その後一周して、再度、その隅に来たとき、バックした際、バックしすぎて畦を乗り越え、用水に横転。U字溝とコンバインに右足をはさまれた。コンバインは全壊で廃棄。	隅刈りをしていて、コンバインをバックさせすぎた。畦には草が繁茂しており、圃場との境が分かりにくかった。畦の高さも低かった。	コンバインの後ろは死角になりやすい。隅刈りが必要な最初の作業時は誘導者が必要である。	緊急停止ボタンで止め、右足は自力で抜いて脱出。昼間で靱の運搬をし、午後整形外科を受診。腓骨骨折と診断。ギブス1.5ヶ月。	右脚腓骨骨折	-	

38	新潟県	1	61	25	9	1 1	土	刈取り作業が終わり、コンバインをバックで農道へ上がろうとしていたとき右へ傾き、前に出ようとしたがスリップし、靱を下ろして軽くして脱出しようと考え、オーガを右に旋回したとき横転した。	傾斜度11～13度の乗入口。水田が軟らかくキャタピラに泥がつき滑りやすかった。	水田への乗り入れは誘導員をつける。	右に横転する前に2m下の畦に飛び降り怪我はなかった。	無し	-
39	新潟県	1	58	25	9	1 4	祭	最後の稲刈りが終わり自宅で清掃作業を行うためコンバインを移動中に、道路右側の用水に転落した。事故者はコンバインが横転する前に右の水田に飛び降り怪我がなかった。	コンバインが転落した場所は、県道との交差点を25mほど進んだところ。右側に落ちることは考えられない場所で、注意力に欠けていた。	事故を起こすことが多いオペレーターである。今まで生産組合で安全対策の指導会をしたことが無いがこれから実施する。	近くの畑で婦人が落ちる様子を見ていた。直ぐに組合長に連絡をとり、組合長が怪我がないことを確認した。	無し	-
40	富山	1	63	25	9		金	14mの昇降路を4条刈りのコンバインでバックで上がってきて、踊り場的な場所で排出のためグリーンタンクをのぼした時、10m崖下に墜落	キャタピラの1本が崖との境目にあり、ホッパーを谷側に回したとき、重心が大きく谷側に寄ったためと考えられる	コンバインは死角が多く、相方もおられた作業で有り、誘導が必要	仲間が救急車を呼ぶ。5運くらいで到着。工作車、消防車バトラーが来た。事故直後意識なし。	頸椎骨折、全身打撲	入
41	長崎	1	72	23	6	1 4	土	麦刈り取り中、補助作業車としてコンバイン前方に詰まった草を取り除いていた。コンバイン運転席からは死角となり見えず、オペレーターは草の除去作業が終了したと思い、コンバインを発進してしまい轢かれてしまった。肋骨骨折。	普段、二人で行う作業を補助に一人増やして3人で行ったため、死角の関係もあり、意思疎通がうまくいかず、轢いてしまった。	コンバインの死角の多さが問題である。死角域を少なくする補助ミラーの設置などを検討する必要がある。また、コミュニケーションルールの徹底も重要である。	携帯電話ですぐに消防署に連絡し、約10分くらいで救急車が到着した。総合病院で治療。1ヶ月入院後リハビリをし順調に回復。後遺症もない。	肋骨骨折	入
42	茨城	1	72	24	8	1 7	月	自宅の庭で泥落とし、グリースアップの手入れをしていた。泥落としのため、コンバイン後方の車体下にもぐって仰向けになって作業をしていた。その際、車体を挙げて作業をしやすいようにエンジンをかけたが、手動ブレーキをしなかった。作業中にいつの間にかコンバインがバックしてきて右足大腿部にキャタピラーがしかかかってきて車体が止まった。	作業をしやすいようにエンジンをかけた。その際、手動ブレーキをかけなかった。静かにバックしていることに気付かなかった。	コンバインではブレーキをかけなくてもアラームが鳴らない。危険の予知	救急隊はレスキュー隊を伴って現場に到着しエアジャッキでコンバインの車体を挙上した。大腿部にはキャタピラの歯3本の痕がついていたが出血もなく痛みで軽度であった。	右大腿部 圧迫創	入

### 3. コンバイン等（自脱コンバイン、ハーベスター、普通コンバイン）

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
------	-----	----	----	----	---	---	---	---	------	-------	--------	------	-----	-----

43	岐阜	1	30	22	9	14	土	コンバインを道路から移動させようとして飛び乗ろうとしたとき、委託主との間が50cmぐらいしかなく、デバイダーの先端部が右足太ももに刺さった。	暑く、頭がぼーとしていた。委託主がおり、コンバインとの間が狭く、焦って飛び乗った。	動力農業機械を操作するときには、焦りは禁物。	農協の担当者に携帯電話で連絡し車の移動をお願いし、また別の人に病院につれて行ってもらった。その間約10分。土曜日で当直医は内科の医師で3針くらい縫ってもらった。入院はせず、3日間点滴にかよった。破傷風予防の注射も2回した。脚は3日間くらい大腿部がぼんぼんに腫れ上がったが、4日目には腫れは引いた。	右大腿部 刺傷	-
44	富山	2	76	24	9	14	金	コンバインを手で押していて、滑ってバランスを崩し、コンバインのガードで右腕を切る	機械が、石塀の側に倒れそうになるので、その間に入って無理に押ししていた	無理な作業、またコンバインのガード等は面取りがされておらず、農業機械全般、もっと面取りの徹底を	自車で整形外科医院へ、4日くらいの化膿止め、治療終了に1.5ヵ月要す。	右腕切傷	通
45	新潟県	1	56	25	10	11	金	大豆コンバインの刈取り部に泥が入り、刈取り部の下にもぐりこみ網を外すときにセンサーに当たったことにより刈取り部が下がり圧迫された。	エンジンをかけ脱穀部が回転していたまま脱穀部の下に入っていた。この状況でセンサーに当たると脱穀部が下がる。	機械利用組合では運転席から降りるときはエンジンを切ることにしていた。今後エンジンを切ることを徹底する。	大豆を運搬していた同僚が事故を発見し救急車を手配した。同様に同僚を呼び患者搬送を手伝った。	4日間意識不明、肋骨・鎖骨の骨折	入

#### 4. 耕耘機等（歩行型トラクター、管理機）

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
46	長野	1	82	25	7	8	木	固定した南京締めが外れて、反動で後方に腰から転倒した。コンクリートの地面に打ち付けられた。	南京締めが外れた。	南京締めの外れない締め方や工夫が必要。	仕事を済ませてから自分で運転して受診。3週間経ってから入院	尾骨・胸骨骨折	入
47	長野	1	64	25	9	15	火	軽トラックに管理機を固定し、棧橋を降りるとき、つま先が棧橋の棧に引っかかり、たたらを踏むようにして下まで落ちた。	サンダルを履いていた。靴を履く必要があった。	ちょっとしたときでもしっかりとした服装で望むことが大切。	その日は我慢して、翌日他の病気の受診日であったので、紹介してもらい受診	右足首捻挫	通
48	千葉	1	67	24	8	7	土	大豆の中耕後、管理機を台車に乗せようとして、台車から前左車輪が外れ、横転。本人は約5mの土手下に投げ出され足首捻挫。管理機は約28m下の川原に墜落した。	雨が降り、管理機を台車に乗せるとき、滑った。	しっかりと直角に台車に乗せる。台車の縁周りはいくぶん高いものに改善する必要がある。	シートベルトをしていたら、命はなかったと本人の弁。残りの作業をしてから午後受診。MRIを撮ったが骨折、靭帯の損傷はなかった。左足がぼんぼんに腫れた。腫れが引き痛みが取れるのに2ヶ月を要した。	足首打撲・捻挫	-

49	茨城	1	70	23	7	1	1	水	畑の作付けのため、小型手動耕運機で畑の土おこし作業をしていた。畑の端の道路近くで歩行型耕運機（豆トラ）が暴走してコントロールきかずに引きずられ、停止レバーをひいた。しかし、豆トラは道路に乗り上げて横転した。その際、左側のズボンの裾が回転歯にからまり転倒し、回転歯が左下腿部（ふくらはぎ下部）に刺さった。	慣れた作業ではあるが、豆トラは余り使っていなかった 耕す面積はさほど広くなかった。 豆トラの暴走で止めようとして手を離さなかった。	耕作地の状況把握 安全停止無理に止めない	奥さんに指示して工具で歯を取り外し、歯を抜いたが幸い出血は見られなかった。直ちに救急車を要請し5分で到着し救急隊員が創部を被覆して病院に搬送された。	左下肢刺創	通
50	富山	1	60	24	6	1	4	土	管理機で大豆の培土後、昇降路を出ようとして転倒 下敷きになる	昇降路を上る際、昇降路の横から上ろうとして左右のバランスを崩して横転	管理機は高床でありもともとバランスが悪い。昇降路には正対して上る	直後、乗りかかった管理機を押しつけようと、必死に力を振り絞った。奥さんが近くにいる、近所の人にて、下敷き状態から、引き出される。5分くらいで救急搬送。	全身打撲、擦過傷	入
51	新潟県	1	62	25	4	1	1	土	耕耘機に溝立て機を付け水田の排水溝を立てているとき、足が泥から抜けにくくなり強引に抜き左に曲がろうとしたとき左膝を負傷した。	水田が軟らかいところで、長靴がうずまった。長靴が大きめであったため抜けにくくなっていた。	足にあった長靴を履くようにする。	足の痛みが直ぐに治るものと思っていた。しかし、痛みはとれず膝がだんだん腫れてきたため2ヵ月後に医者に行く。	左膝の関節炎	通

#### 4. 耕耘機等（歩行型トラクター、管理機）

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
52	富山	1	63	23	7	7	7	水	大豆培土作業中、うね間移動を機械を持ち上げ、次のうねで降ろしたら、柿の下枝が安全レバーに引っかかり、耕運刃が急に回り、ズボンが刃に巻きつき、刃が太もものにささった。平地畑で大豆、柿、梅、里いも、ネギが混植されている（耕運機を持ち上げた時、回転刃が右太もものにささった）	もともと、鍬や手作業に適した栽培の畝作りであった。また前後は柿の木が植えてあり、Uターン出来ない状況であった。管理機は37kgと小さいが、畝づくりはさらにサイズが小さく、環境と機械のミスマッチ、またUターン時にエンジンを切る	手作業で行うか、畝の前後の柿の木の処分、または畝の前後には作物を植えない	本人が大声で叫び、100m先の家で、たまたま奥さんが窓を開けて炊事をされていて声を聞きつけ、救急車手配、工作車も来る。救急隊員に刃の外し方を本人教え、外してもらい、刃を付けて搬送。 目に見えない草の繊維が多く、手術後膿んできて、結局筋肉切除をした。	右大腿貫通創 右大腿皮膚潰瘍	入

#### 5. 田植機

#### 6. 精米機

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
------	-----	----	----	----	---	---	---	---	------	-------	--------	------	-----	-----

53	神奈川県	1	62	25	6	18	土	田植後、田植機の点検時、クラッチを入れても動かないので、クラッチワイヤーを押したところ、テンションがかかった状態となり、車輪が動き出し、腕が巻き込まれた。	クラッチを切ってから、あるいはエンジンを切って錆止め用の油を噴霧すべきところを、エンジンをかけたまま、クラッチを入れたまま点検してしまった。	動作不良の場合は、必ずクラッチ、エンジンを切ってから点検する必要がある。	大声を上げたが雨戸を閉め切っていて聞こえず。持っていた携帯電話で、妻に連絡。妻が救急車を呼び、約10分で大学病院の救急に搬送された。筋肉、腱が断裂。翌週手術。約2mmのビスで固定。ギブス装着。リハビリ。	右肘靭帯断裂、上腕筋肉断裂	入
54	栃木県	1	71	25	4	11	祭	初めて使用する4条植田植機で田植え終了後水田より出入り口から出ようとした時、本人の意思に反し左折しながら進み畦畔に沿ってある川に田植機が転落	乗用田植機の運転が初めてで操作に慣れていなかった	今後は歩み板を利用して出入りするようにする	田植機が川に転落すると直感し反対側の右側の畦畔に飛び降り負傷しなかった	無傷	—
55	新潟県	2	36	25	7	11	水	精米機の搬送能力が低下したため、スクリュウの清掃することにした。スクリュウを取り外そうとしたがなかなか外れず、力いっぱい引いたときスクリュウが急に落ちて指を挟んでしまった。	狭いところでの作業で、作業がしにくかった。ベアリングが壊れておりスクリュウが外しにくかった。	ベアリングを交換した。	社長の奥さんの運転で医院に行つて治療を受けた。	右手人差し指複雑骨折	通

## 7. 軽トラック

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
56	北海道	2	55	25	9	15	日	軽トラックの荷台に乗ってコンバインからの籾を荷受けする作業中、降りようとして転落	軽トラックから慌てて降りてしまった	荷台には乗らないことにした	直ちに夫の運転で病院に向かった	左膝内部の複雑骨折	入	
57	富山	2	69	23	7	15	金	田の水回り中、草刈りをしようと、トラックをとめ、畦の草の様子を見に行つた時、自車サイドブレーキをかけ忘れ、動き出したトラックを止めようとして、下敷になり、土手に墜落。身動きが取れず、たまたま溝にはまって、約1時間半後に発見、救出された	見た目には、そんなに急傾斜ではない場所であるが、少し先には平地があったので、そこに停車すれば良かった。またサイドブレーキをかけていなかった。	平地に止める、またサイドブレーキをかける癖をつけている	事故後、約1時間半後、180m先の自宅2階より異変発見。消防署に連絡。救急車、工作車、消防車、パトカーが来て救出。安静のため、1日入院。	左肋骨軟骨損傷 左大腿打撲	入	
58	長野	1	79	25	3	8	金	道路を左折するつもりだったが、正面のカーブミラーのある土手にぶつかり、反動で左の道路から95cm下の畑に転落。	以前に痛めた足の影響もあった。	免許証を返上する。毎日歩いて筋力を鍛えている。	近くの人が奥さんに連絡をし、救急車を呼んだ。翌日も受診した。	腰部打撲	通	
59	栃木県	1	34	25	6	14	日	コンバインからメッシュコンテナに移した小麦を平らにならす作業をトラックの荷台で行い荷台から路上に降りた時、舗装面と土面の段差で足首をひねった	高床タイプの2トン車トラックで専用ステップから路面まで0.8mと高い。路面に段差有り	作業場所の足元や周囲をよく確認する。ステップが高くても飛び降りない。	足首の痛みをこらえながら仕事をこらえながら。4日後に痛みが取れないため病院に行く。	右足首はく離骨折	通	

## 8. トレーラー

## 9. 自走式肥料散布機

## 10. 藁カッター

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
60	新潟県	1	56	24	8	1 3	祭	トレーラーをつけた歩行用トラクターで水稲苗の運搬をしていた。圃場まで傾斜度9度の農道の下り坂をバックで進み、40mほど進んだところで、水田とは反対の5m下のコンクリート製の排水路に転落した。	苗を満載していて後方がよく確認できない状況にあった。農道はかまぼこ型になっておりバックでは運転操作が難しい。さらに運転していたトレーラーは操作が難しい機械であった。	歩行用トラクターを処分して軽トラックに乗り換えた。	近くにいた家族が直ぐに救急車を呼び病院に搬送された。	肋骨・鎖骨の骨折、内臓圧迫	入
61	富山	1	30	24	5	1 1	一	運搬車形式のブロードキャスターを昇降路で仰向けに転倒	傾斜のきつい昇降路で5～600kgある荷を乗せて急傾斜を上ろうとした。	機械的に前方と荷を乗せた時の後方の重さが極端に異なり、重心の位置が	近くの人が、救急車、工作車呼ぶ。本人、宙を舞って、四つん這いになって落下。	右手首骨	通
62	長野	1	64	24	11	1 6	水	一人で作業中、藁カッターの回転軸に、ズボンのヒモが絡まり、ズボンで足を締め付けられた。	もう少しだったので、カバーのない反対側から藁を投入した。	ズボンのヒモなどが出ない服装。回転軸などへのカバーの設置。	たまたま近くの衛生関係の業者が気づき、救急車を呼んでくれた。	多発性下腿損傷、両下腿座減創、右腓骨骨折	入

## 11. 散布機・噴霧器

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
63	神奈川県	1	86	25	11	1 5	水	除草剤を入れた電動の噴霧器を担いで、畑の縁を歩いていたが、足を踏み外して、6m下のコンクリートの道路に墜落。たまたま通りかかった人に発見された。	薬剤の入った噴霧器を担いでいたために液が揺れたことと、畑の縁の足場が不安定であったためにふらついて、転落した可能性がある。	危険箇所として、息子さんがパイプ柵（高さ60cm）を作ってくれてあったが、落ちた場所にはその柵がなかった。	発見されたときにはまだ意識があった。救急車、ドクターヘリが要請され、大学病院に搬送されたが、病院で死亡が確認された。	死亡	死亡
64	新潟県	1	70	25	7	1 6	木	動力散布機で肥料まきで、農道から畦に移る法面で滑り転倒した。法面から下りた畦の110cmのところにコンクリート製の用水取り入れのマスが有り、それに気が取られていた。	法面の傾斜度は25度であり、直前まで雨が降っていたため、滑りやすかった。20kgの肥料が満タンであり滑ったときバランスが崩れ踏んばれなかった。	事故の様子を直ちに法人の組合員に報告し、滑りたため、滑りやすさを指示した。	同僚から自宅に送ってもらい、自宅から妻の運転で病院に行き手術を行う。	右足首の骨折	通
65	新潟県	1	65	25	5	1 5	土	動力噴霧器で除草剤を散布中に、排水路のU字管をまたいだ時、滑ってU字管に落ちアキレス腱を切断した。		15ℓの噴霧器に除草剤が満タンに入っているとバランスを崩したときこらえきれない。このことを注意して作業する。	近くに置いてあった運搬機で家に帰り、妻の運転で病院に行く。	左足アキレス腱の切断	通

66	富山	1	69	24	7	10	金	営農組合で肥料を散布中に転倒し、左肩を強打する	畦幅の狭い場所での作業で踏み外した	永年の風化で畦が崩れており、改修が必要	接骨院にて脱臼を直してもらった。	左肩関節脱臼	通
67	兵庫	1	54	22	10	0	土	レタス作付予定の圃場で、20kgの肥料を入れた背負式散布機で散布しようとした時、排水溝につまずき転倒した。	コンクリートの通路は幅15cmと片足がやっと乗せられるほど狭い。	できるだけ機械を使って肥料を散布するようにした。	その日は土曜日で病院は休みだし大したことない痛みを辛抱していた。翌日曜日になっても痛みがひどいので救急外来で診察を受けた。	右上腕骨大結節部剥離骨折	通

## 12. 重機・フォークリフト

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院
68	長岡	1	58	25	5	20	水	前年の洪水で崩れた道路（約100m、自宅から180m）をユンボを使って復旧作業をしていた。夜8時頃、ユンボのライトは切れて付かなかったが、月明かりで穴を掘っていたところ、ユンボが傾き左側に横転し、左足がユンボのアームで下敷きになった。	ユンボの資格があり、初心者ではなかったが、ライトも付かない暗い中での作業で穴が見えなかった。	夜のユンボ使用の作業は危険である。また、万が一のことを考え携帯電話の携帯が重要である。	夜10時半頃、心配して探していた奥さんに発見され、すぐに救急車を要請。また近所の方4～5人がジャッキでユンボを持ち上げ、救急車、レスキュー隊が来る前に脚は抜けていた。すぐに大学病院へ搬送。翌日、手術、金を入れ、ボルト6本で止めた。3週間入院、3ヶ月リハビリ	左脚大腿部骨折	入
69	兵庫	1	80	25	2	p.m.	木	小型バックホーに乗り、畦畔場を走行しながら、山の芋圃場の周りに明渠をつくっていたが、方向変換の時機体が転倒し、右足を挟まれた。	狭い畦畔を幅ぎりぎりの小型バックホーで走行するだけでも困難だが方向変換はもっと危険である	運転に注意を要する	携帯電話で友人に連絡し、2人かけつけたが機体が持上りならず、さらに2人呼び4人でやっと少し持上がったので、そのすきに足を抜いた。	右足打撲内出血	-
70	富山	1	67	23	4	9	日	営農組合作業中に誤ってフォークリフトに指を挟まれた	本来乗ってはいけない、リフトに乗っての起こった	目的外使用であり、その場合の対策を事前にとる必要がある。	自車にて15分にて整形外科に行くも休日にて休診、さらに5分にて別の整形へ、何針か縫合、2ヵ月間リハビリ	右3、4指挫創 右4指末節骨折	通

## 13. 電動工具・用具      14. SS

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院
------	-----	----	----	----	---	---	---	------	-------	--------	------	-----	----

71	神奈川県	1	84	25	4	16	土	40年ものの梅の木(幹周り80cm)を伐採しようと、チェーンソー(40cc、刃渡り30cm)で上の枝から切っていたら、直径2cmぐらいの枝が頭に突き刺さるように落ちてきた。帽子は被っていなかった。頭に手をやると、血がべたっと付いた。	帽子を被らずに、チェーンソーで枝切りをした。	枝切り作業などには、ヘルメットの着用を義務づける必要がある。枝などに絡まって脱げてしまうので、着用しなかったようだが、軽くて丈夫な、破りやすいヘルメットの開発が望まれる。	休日だったが、夕方6時までならいいと言われ、車で10~15分のところにある医院を受診、3針縫った。破傷風の予防に1日置きに3回通院。抜糸は2週間後。	頭部刺創	-
72	長野県	1	77	24	2	17	金	切断済みの枝が他の枝に引っかかっていたが、強風にあおられ、落下。左肩、頭に当たった。	上から順に枝を落としてきたはずだが、落ちていなかった。	ヘルメットを使用する。	かかりつけ医が手術で対応できないというので、3日後に受診。	左肩甲骨骨折	通

### 13. 電動工具・用具 14. SS

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院
73	富山県	1	50	23	5	9	日	地区の総普請で作業中、道路脇の木を伐採していたところ、木がはねて頭にあたり、転倒し頭をうった	雪が残っていて、枝が雪に埋没しており、枝を切ったとき一気に浮き上がり、顔面直撃	雪に埋もれている部分から切っていく事としている	CTを撮り、唇縫合、頭を強打しているということで10日間入院安静、10日後再度CTにて、異常なしにて退院	歯牙欠損(前歯喪失)	通	
71	栃木県	2	44	25	2	15	金	梅剪定枝をウッドチップperで粉碎作業をし、機械を移動しようと前方に堆積していたチップを手で拡散している時、誤って指をスクリーンの中に入れ回転刃で切断した	回転刃のクラッチを切りチップを拡散する作業を始めたが惰性で回転していることを忘れ、手を入れてしまった	購入時に粉碎したチップを手でかき出さないように指導された	家人の車で病院に行き、手術を受けた。指は粉碎されたためつけられなかった	右手人差し指第1関節切断	通	
75	滋賀県	1	35	23	7	17	-	手持ち式のディスクグラインダーを使おうとして、左手にグラインダーを持ち、右手で電源プラグをコンセントに差し込んだら、作動スイッチがすでに入っていて、思いもよらず急に回転し出した。そのときのグラインダー胴体の強い挙動で手から落とし、刃が左脛に当たった。	スイッチが入っていた原因は不明。機器は握る胴体部分が太く(周囲径20cm)、起動時の激しい挙動を抑えるのが困難である。	ダブルアクションでしか「入り」にできない作動スイッチ。ディスクグラインダーの補助ハンドルはオプションでなく、標準装備とする。	携帯電話を持っていたので自分で救急車を呼んだ。傷は脛骨表面まで達しており、治療に2時間くらい要した。1年くらいは違和感があった。	左下腿前部中位の溝状の削傷	通	
76	栃木県	1	71	25	1	10	金	梅園でエアー剪定機を使用して剪定中、脚立に上り体を安定させるため左手で枝をつかんだ際、右手に持っていたエアー剪定ハサミで左手親指を切創した	エアー剪定ハサミのロックを解除したまま脚立を上り体が不安定なので枝をつかんだ際の出来事	安全装置をロックしてから移動し、使用する直前にロック解除するようにした	息子の運転で病院に行き縫合手術を受ける	左親指切創	通	
77	富山県	1	81	24	2	15	月	10aの三社柿の園地の剪定で、24本の剪定の最後の木の剪定をしていて、目線がそれた時、電動剪定ハサミで手の指を切った。電動剪定ハサミで左母指不完全切断	最後の1本とあって、手元から目線を外してしまった。	最後の最後まで、目線を手元から離さない	自車にて近くの総合病院へ、しかし、治療不可との事で別の総合病院へ、30分待ち治療、手術は1週間後。	左母指開放骨折	入	

78	福岡	1	62	24	11	10	木	お茶畑で、乗用整枝機で整枝した後、一人用整枝機で仕上げ中、お茶の木の枯れ枝を手で払って、整枝機の刃に触れて指を	一方で、電照菊の作業も重なっていて、気のあせりがあり、エンジン回転を落とすだけで、動いているにもかかわらず手を出した	機械としては軽量で便利であるが、いわゆる作業の刃はむき出しである。また、機械で整枝する作業と枯れ枝を除く作業が「ついで作業」として行われており、別々に行う事も検討課題	通院治療で約40日間かかった	左第2指先端部切創	通
79	長崎	1	41	19	8	11	水	SSでみかん園の農薬散布中、運転しながら摘果したり、剪定をしていて、手を伸ばしたときに足が地面に着き、SSのタイヤに右足が巻き込まれた。右足は股割り状態になり、園地に横倒しになった。その右足の上を500kg、600Lの農薬を乗せたSSに踏まれた。	SSで農薬散布をしながら、摘果や剪定をするという「ついで作業」「ながら作業」となり、つい手を伸ばしすぎ、足が巻き込まれた。	農作業現場では、「同時進行的に別作業を行う」ことは日常茶飯事であるが、安全対策として、「ながら作業」だからこそ発生する危険性について考える必要がある。以後、運転席から足を下ろすことはしなくなった。	たまたま携帯電話を所持していたので、仲間に電話をし、救急車も呼んだ。園地まで救急車が入ってくれ、近くのグラウンドからドクターヘリで病院へ搬送された。右足はボルト3本で固定した。翌年、翌々年も高熱が出た。	右足舟状骨骨折、右脚股関節脱臼、左膝下挫滅創	入

## 15. 籾乾燥施設内の事故

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
80	千葉	1	62	20	8	18	一	籾の貯留タンクの循環用のコンベアを動かすチェーンが詰まって動かなかったため、手を入れてゴミを取った時、チェーンに指を取られて切斷。	手持ちの懐中電灯で照らしながら作業したが、問題のチェーンの場所はかなり奥深く、見えなかった。	籾の詰まることのあるのは前提なので、照明装置をタンクの中に設置する必要がある。また、詰まらないような工夫や、詰まったときに容易に除去できる構造に設計することが重要である。	携帯電話で奥さんに電話。腕を縛って止血した。約10分で医療機関へ。午後7時前に受診。中節骨を少し削って、縫合。約1ヶ月間毎日ガーゼ交換に通院。切斷した指は、ずたずたで接合はできなかった。	左中指末節骨切斷	
81	島根	1	62	25	8	15	金	乾燥機から籾タンクへの導入装置で籾を排出中、タンクが一杯になったので、排出部を回転させようとして手を入れ、中で回っていた羽根に触れ、スロワー回転部で手を受傷。	排出部にカバーがなく、羽が剥き出しになっていた。	カバーを設置する必要がある。電源の元スイッチが一階にあり遠く、2階の排出部にも緊急時停止用のスイッチをつける必要がある。	下の作業員が気づいてくれた。逆回転して手を抜いてくれ、車で整形外科に搬送。X線撮影、骨折なし。3針ずつ縫った。	左手、中指・薬指先端切創	一
82	新潟県	1	61	25	9	11	祭	籾タンクに籾が山盛りとなったのでならすため、均平器で籾を押していたとき、ひじの後ろにあった換気扇に当り、ひじを切った。	均平器の柄が長く狭いところでは使いにくかった。換気扇と籾タンクの間が狭かった。	作業中は換気扇の前に板を置いて換気扇に当たらないようにカバーする。	左ひじを止血した。妻が休日診療所に連絡をとり、長男の運転で休日診療所で手術した。	左ひじ切創	通

## II. 用具・手具

### 1. 脚立

連続 NO	地区 名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
83	富山	1	61	24	9	16	日	畑の摘果は7月に終わっていたが、庭先の1本を当日、三脚にて摘果作業中、転倒し、横脇腹打撲	三脚を設置したとき、一番したの段が、庭の石の上に乗っていて、すごしぐらついていたのだが、大丈夫と思って作業をしようとした。	「ほんのちよとだから」と、いつも取っている安全対策を取っていなかった	奥さんに総合病院へ、入院2日、固定のみ	右肋骨多発骨折	入
84	富山	1	83	22	9	10	金	自宅近くのりんご園で剪定作業中、脚立から転落。左鎖骨骨折	設置面が不安定	設置の際、脚をしっかり踏み固める動作が必要	落下直後、声出ず。手が上がらず、ブラブラ状態、息子さん病院へ搬送、入院15日、通院1.5ヵ月	左鎖骨骨折	入
85	富山	2	87	23	4	14	祭	りんご園内で摘果作業を行っていた際、脚立から落下	園内の土は、ふかふか。脚立設置の際に、脚を十分に踏み固めなかった。	設置の際脚をしっかり踏み固める動作が必要	自宅へ這いずって戻り、お嫁さんの携帯に電話、病院へ搬送、休日担当医師、特に問題なし、月曜整形外科医、骨折との診断、2ヵ月入院	左踵骨骨折	入
86	長野	1	79	25	3	10	日	柿の木を移動しようと、1.5mの深さで穴を掘り、菰を巻いて3mの鉄パイプで3脚を組み、チェーンブロックをでつり上げたとき、少し調整しようとして脚立に昇ったところ、滑って穴に落ちた。	鉄パイプの1本に脚立を立てかけ昇ったため、バランスを崩した。	脚立を立てるときには上も下も安定性に注意する。	垂直に落ちたので大丈夫だと思ったが、4日目から痛みがひどくなり受診。	むち打ち症	通
87	長野	1	68	25	5	7	月	松の翠摘みの作業中、脚立が開脚し、つぶれるように倒れ、8段脚立の6段目から落下した。	開脚防止チェーンが届かず、安全だと思った脚の設置場所が外れて開脚した。	事故が10段の脚立を購入したが、必ずしも大が小を兼ねることはない。また、開脚防止チェーンの長さにも限界がある。	自宅の庭なのに大声で呼んでも二重サッシのため家族には聞こえなかった。	左下腿部挫傷	-
88	神奈川	1	70	24	5	14	火	家から車で3時間のミカン畑での事故。3本足の脚立（天板を含め9段、2.7m、垂直に2.3m）の天板に乗り、樹高3.5mのミカンを収穫中、脚立の左側の脚がのめり込むように脚立が倒れ転倒。左脇腹を強打した。	樹高が高すぎるので、天板に乗らざるをえなかった。また、脚立の踏み段の幅が4cm、天板も8cmと狭かった。	樹高を抑え、天板に乗らなくてもいい高さに切る。脚立は踏み段の幅の広いものに変えた。	落ちてから10分ぐらい痛くて身動きがとれなかった。自力で車を3時間運転し帰宅。翌日整形外科を受診。治療としてはサポーターを巻き、痛み止め、湿布のみ。	左下部肋骨2本骨折	-

# 1. 脚立

連続 NO	地区 名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
89	富山	1	57	23	6	10	日	りんご園内で、りんごの木の剪定中脚立から落下	天板の最も高いところで作業、また脚立の設置場所も傾斜のある場所だった	傾斜地での脚立の設置のしかた、また脚立の脚が水平となるような伸縮できる脚立が必要	スローモーションのように落ち、四つん這い状態で手をついた。当日、たいした事がないと思い、受診せず。翌日、腫れて来たので受診、1時間Ope、1日入院	右示指関節内骨折	通
90	長野	1	73	25	3	10	土	5段脚立の天板に乗り、バランスを崩し、転落	天板から落下	もう少し段数の多い脚立を使用し、天板には乗らない。脚立を安定させる。	奥さんに携帯で電話をし、救急車を呼んだ。ICUに入院	右上腕骨、右手首、骨盤骨折	入
91	兵庫県	1	75	20	3	p m	土	パイプハウスの点検・補修を総出で行っていた。天井部分を補修している時、体制を変えたはずみで脚立がぐらつき3M下に落下した。	通常は三脚を使うのに使用中のため不安定な四足脚立を使用した。しかも天板の上で作業した	高所作業の場合は三脚脚立を使用する。高齢者は危険作業を避けるように役割分担をする	一緒にハウス内で作業していた従業員達がすぐに気づき執務室に担ぎ込んだ。大したことないとの判断で病院にはいかなかった。2,3日経ってから体中痛くて、青あざもできていた。	軽い脳震盪 体中打撲	-
92	神奈川県	1	70	25	10	10	金	牛舎で脚立に上って梁の埃を取っていた時、近くの牛が開脚防止用のチェーンを舌で舐めて外したのを知らずに、上って脚立転倒、脳しんとう、頭、腕、膝など強打、打撲。	開脚防止用のチェーンを着けておいたのだが、牛がフックから外してしまった。予想もしなかったもので、それを知らずに脚立に乗った。	想定外の事故であった。フックから外れないチェーンにするなどの工夫をしないと本人の弁。	午後一番に1.5km離れた病院を受診。CT、レントゲンを撮ったが特に問題なし。その後1週間、3回受診した。その後腰が痛くなり、現在も痛みが続いている。血液さらさら薬服用。	脳しんとう、頭部、右腕、左膝打撲	-
93	長野	1	73	25	4	16	月	支柱からヒモを南京締めで引っ張ったところ、輪が外れて脚立の3段目から転落。	南京締めの輪が外れた。	南京締めの外れない締め方や工夫が必要。3m以上の高さの枝は切ることにした。	自分で運転して帰り、翌日受診。	腰部打撲	通
94	長野	2	70	16	8	16	月	脚立に昇って打つ夫の掛け矢が杭を外れ、誤って杭を持っていた右腕に当たった。	脚立の足場が不安定。重い作業。	脚立の足場が不安定で、杭を外した可能性もある。ステップ幅の広い脚立の導入が必要。重労働なので頻回に休む必要があった。	夫の車で近くの病院を受診。手術。切開。ギブス固定。	右橈骨骨折	通
95	長野	1	68	25	9	8	木	会議の前に革靴のまま林に行き、4脚の脚立を開いてハシゴとして木に立てかけ、脚立が滑って転落。	上の枝にかける位置も下の地面も不安定な条件で脚立を立てかけた。	作業する体制、服装、携帯電話などの携帯、ヘルメットの着用などが必要。	自分で運転し会議場まで到達。そこから救急車で搬送。	第3腰椎圧迫骨折	入

# 1. 脚立

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 通院
96	福岡	1	53	25	12	15	火	四脚の脚立の上に上り、わすに設置した煙突をもう少し締めようとペンチで針金を締めたところ、ペンチが滑り、脚立から落下	いつもは、三脚の脚立を、また滑りにくいグラブを使うのを、目の前にあった、場所的に不安定な四脚の脚立にのり、滑りやすいペンチを使っていた。	どんなに簡単で、短時間に終わる作業であっても、高所作業であり、確実な作業を選択する	落下したとき、右肩脱臼、3週間固定、リハビリ。その後、仔ゴ作業が忙しく、治療を中断	右肩脱臼	通

# 2. はしご

# 3. 鎌

# 4. 斧

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 通院
97	岩手県	2	76	25	11	15	一	牛舎内で2階に糞を上げる作業中、はしごで2階から降りようとしたが、上から1~2段降りたところではしごが滑り、バランスを崩してお尻からコンクリートの地面に落ち、臀部と左足を打撲した。	はしごの設置場所付近に水道があり、地面が濡れていることが多いにもかかわらず、はしごが固定されていなかった。	はしごをかける向きを変えて、地面との接触部が餌箱で固定されるように配置し、はしごが動きにくいようにした。安全確認は必ず行うようにする。	すぐに立ち上がれないほど痛かったが、家族は夕方の作業があったため病院には行かず、当日は安静にしていた。次の日、県立病院に行きレントゲンを撮ったが骨に異常はなく、臀部と左足首の打ち身であったため、湿布と痛み止めの飲み薬をもらった。その後、3回ほど通院した。	臀部と左足の打撲	通
98	神奈川県	1	55	24	5	11	木	約4mの高さの梁に、長さ4.58mのアルミ製2連梯子を立てかけ、84歳の父親に梯子の下を押さえてもらい、上から2段目のステップに立っていた。たまたま梁の上にあった5kg弱のものが下に落下した。父親が梯子から手を離し、その落ちた物を取ろうとしたとき、梯子が滑り転落した。左手で梁に一度はぶら下がったが、自分の体重を支えきれず、下に落下した。落下したところに梯子があり、その上に右脚踵を強打した。	梯子を立て掛けた場所は、最近打ち直したコンクリートで、とくに滑りやすかった。さらに、梯子の下のゴム板が硬化しており、スッターの役割を果たさなかった。	梯子の上部に簡易なスッター、さらに梯子の下のゴム板が傷んだら簡易に取り替えることができるようにする必要がある。	父親が家に連絡し、奥さんが軽トラで病院の外来に搬送した。約20分くらい待った。踵からの出血で床が赤く染まった。医師から「こんな時こそ、救急車を利用しなさい」と言われた。踵の骨が粉砕骨折していて、大きな血管が骨で切られたようだ。翌日手術。人工骨、金属で補強。	右足踵骨粉砕骨折	入

99	岩手県	2	47	19	9	15	土	繁殖牛の牛房床に入れる稲わらの準備のため、牛舎の2階にわらを上げる作業中、はしごを使って2階から降りようとしたときに、上から2段目（高さ1.8m）で右足を踏み外し、コンクリートの床に落ち、左膝を強打し動けなくなった。	この日は飼料の配合をする予定があったので、この作業を早く終わろうと思い、注意が足りなかった。	作業前にははしごの設置状態を確認し、滑らないようしておく。	大声で別棟の牛舎にいたおばあさん（夫の母）を呼んだ。おばあさんに頼まれた夫が救急車を呼び、15分程で到着して30～40分で釜石市民病院に搬送された。待機していた整形外科医にすぐ手術をしてもらえた。金属板2枚とネジ10本以上で固定、1年後にネジを取り外したが重量物取扱いができず、時折不自由を感じる。	左脛骨高 原破碎骨 折（単純 骨折）、 胸部打 撲、右腕 打撲、右 膝打撲	入
100	島根	1	41	25	9	13	木	雨模様であったので、昼食も取らずに、オペレーターがコンバインで作業していた。本人はその先で、大きく膨らんだ圃場の隅を草刈り鎌で、逆手で稲を刈っていて、焦って左親指の先端を切り落とした。	草刈り鎌を使用していた。雨模様で焦っていた。逆手に持って稲を刈っていた。	稲刈り用の鎌を使う必要がある。稲を持つ順手を習う。焦らず、休憩を取る必要がある。	母親がすぐに駆けつけ、近くの医療センターに電話をして搬送。手はタオルで巻いて止血。水道水で洗浄。ガーゼ交換に通院。	左手・親 指先端切 断	-
101	長野	1	79	25	1	11	土	二股に分かれたヒノキの枝（幹）を斧で切り落としたところ、その枝が右足甲に落ちた。	安全靴を履かずに一人で作業した。	安全靴やヘルメットの着用が必要だった。	帰宅した受傷者に驚いた息子が運転して受診。	右足甲挫 傷	通

### Ⅲ. 特になし

#### 1. 歩行中

連続 NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
102	長野	1	84	25	3	16	土	秤で5kgの肥料をはかり、撒こうとして、秤を飛び越そうとしたら、秤に足を取られ、躓いて転んだ。	飛び越えられるという過信があった。	急がば回れ。重いものを持つときは安全性に注意が必要。	翌日、隣に住む嫁に病院へ連れて行ってもらった。	左足下肢 打撲	通
103	愛媛	1	61	25	3	9	祭	急傾斜の柑橘園地にて春肥を肥料散布桶にて散布中、足を滑らせ、右脇腹強打、打撲。	とにかく急傾斜地で、現場付近の斜度は37°、39°、43°、47°であり、作業する前に立っている事も困難な状況。	園地には、うっすらと等高線に沿った小道らしきものがあった。作業道をもう少し、しっかりと作る事で、作業性も、安全性も高まる。そのような構造改善的な事業には、行政等の支援も考えられていい	調査時、ご本人の仕事の関係で詳細を充分聞けず	右肋骨下 部打撲	-

104	長野	2	66	25	4	7	木	前日10cmの雪が降ったので、ハウスが心配になり見回りを行った。斜面になっている通路にホースがあり、その上に乗って滑り、2mぐらい舞って落下。	滑りやすい長靴を履いていた。	雪のときはとくに、スパイクなどの滑り止めが必要だった。	すぐご主人が運転して病院を受診。自宅療養。	第1腰椎 圧迫骨折	通
105	鹿児島	2	61	24	3	16	月	甘藷の芽だし用ハウスで、被覆用ビニールをかけているとき、トンネルハウスの支柱に足を取られ転倒、腰椎圧迫骨折。	ハウス内の温度は45°くらいあり汗びっしょりとなり、フラフラ状態であった。また、ビニールシートにも水がかかっている滑りやすい状態であった。	たとえ20分ぐらいの作業でも、換気を十分にし、温度、湿度など環境を整えて作業をする必要がある。また、滑りにくい靴を履くのも一案である。	転倒後しばらく動けなかった。何とか家まで軽トラで帰ったが、夜痛くて眠れない状態で、次の日、娘さんに病院に連れて行ってもらい受診。レントゲンを撮ったら、腰椎の圧迫骨折とのことで、コルセットをはめ、痛み止めをもらった。その後、6月上旬まで十分な農作業は出来なかった。	第4腰椎 圧迫骨折	-
106	富山	2	70	24	8	10	日	りんご畑で摘果作業中に誤って杭につまづき受傷した	リンゴの木を支える支柱が沢山張り巡らされており、移動中に常に引っかかる可能性がある	支柱の設置状況を常に点検	痛かったが1週間我慢後、受診、捻挫だったが、通院80日間におよぶ	左肩関節 捻挫 左肘関節 捻挫	通
107	長野	2	77	24	10	15	月	コンバイン作業に邪魔になると思い、鋼管竹を早めに片付けようと抱えて運搬をしていたが、土手が崩れており、転倒した。	土手が崩れており、足が滑った。	土手の整備が必要。予定日が近づき焦りもあった。	翌日クリニックを受診。右橈骨骨折。ギブス固定。	右橈骨骨折	通

## 1. 歩行中

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
108	茨城	2	63	24	6	10		土	知人のブドウ畑で花摘み作業を行っていた。雨が降っていて作業は大変だったので、作業は早めに切り上げた。急いでいたため、庭に傾斜があり、下り坂で粘土質のため右足を横に滑らせて転倒した。その際「ボキッ」と足首あたりで音がしたので足が折れたと思った。	急いで帰ろうと気が急いでいた 雨で滑りやすいことを忘れていた	天候や周囲の状況への配慮 業着衣等への配慮	夫が駆けつけ5分ほどで救急隊が到着し、ベッドに固定され20分ほどかけて病院に搬送された。右足首の骨折で全治3か月と診断された。	右足首骨折	入
109	富山	1	44	23	7	9		日	田んぼから道路にあがろうとした（1mくらい）ところ、うまくあがらず、下の側溝に右足がうまく着地したが、左足が側溝の角にぶつかり、左足の膝の皿を折った	もう少し、緩く、危険が少ない場所があったが、近道で最も深い用水を越えようとした。	時々、往来する場所なので、橋板の設置などが必要	日曜日で、隣の市の救急センターへ自転車にて。翌月曜日に整形外科医院受診、入院、約1ヵ月。約1年後にボルトを抜く。	左膝蓋骨骨折	入

110	富山	1	78	23	5	15	土	田の水路の水を確認に行った際、ふたをしめようとした際、すべってころんだ	いつも慣れている道路から用水への移動であったが、目測を誤った	用水を挟んで道路と対岸の畦橋板などの設置が必要	自転車にて家に戻り家人にて病院搬送、装具にて固定、その後松葉杖、治療3ヵ月	右膝内側側副靭帯損傷 右脛骨高原骨折 右膝関節血腫	入
-----	----	---	----	----	---	----	---	-------------------------------------	--------------------------------	-------------------------	---------------------------------------	---------------------------------	---

## 2. 高所転落

連続NO	地区名	性別	年齢	平成年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
111	新潟県	1	63	25	11	16	祭	鉄パイプで作った自家製の車庫の屋根を修理中に滑って落ちた。屋根は波板で高さ2mのところから滑り落ちた。	傾斜度は17度と上に乗るにはかなりきつい状況であった。端から2番目のところで掴るところが無かった。	屋根の修理は業者に頼むこととした。高いところの上るときははしごの下を持ってもらうことにした。	妻が帰ってくるのを待って、妻の運転で病院に行った。病院には様態を伝えてあったので、専門医が待っていた。	両足踵の骨折	入
112	富山	1	70	24	10	6	月	家の裏のいちじくの木にのぼり、いちじくを取ろうとして、枝が折れ、2mの高さから、頭から落下、顔面強打	不安定で折れやすい枝に上って、いつもの癖で木登りをしてしまった。	「ほんのちょっと」だからではなく、しっかり脚立などを使う	約13m離れた家で落下を目撃。すぐ救急車要請、搬送。手術無し、顔の形を整えるようにして安静。現在もあごの収まりが悪い感じがする。	顔面、多発骨折	入
113	愛媛	2	52	25	7	7	金	スイカ畑で、スイカを積み上げる作業中、畑の境界の1.7m下に後ろ向きに転落。脊椎圧迫骨折。	この境界が草むらで大変わかりにくく、傾斜がどの程度かも外見ではわからない。	わずか1.7mの高さとはいえ、「1mは、一命を取る」と言われる通フェンス等の墜落防止柵する事が望まれる。	転落直後約30分位、横になったままであった。その後、おんぶして軽トラにまで運んでもらい、自宅に帰った。家で1時間ぐらい横になり、その後自家用車で約30分の医療機関を受診。レントゲンを撮ってもらったが、たいした事が無い、との事であったが、子どもが、「様子がおかしい」と別の医療機関を午後2時ころ受診。MRIも取り、脊椎の圧迫骨折と診断。翌日入院。	第12～13脊椎圧迫骨折	入

114	鹿児島	1	58	25	4	8	火	廃棄マルチ回収用ボックスの中のビニールを踏み込もうとして、ボックスの枠に足をかけて上がろうとしたが、上り損ねて転倒、腰椎骨折	このボックス1杯が重量に關係なく2万円するので、出来るだけ詰め込んだ方が少しでも経費削減となると考え、踏み込むために昇ろうとして転倒。	退職後に農作業に初めて体験する人を対象に、組織を上げて農作業手順の見直しを行う必要がある。事故後このように上から押さえて詰め込む作業はしないことにした。また、もし詰め込みに上がるなら、足をかける台座などの設置も必要である。	一緒に働いていた仲間がすぐに救急車を携帯電話で要請し約10分後に到着、病院には15分で到着。病院でレントゲン撮影にて第1腰椎圧迫骨折。固定と痛み止め36日間入院。後半にはリハビリをした。	第1腰椎圧迫骨折	入
-----	-----	---	----	----	---	---	---	--	---	---	---	----------	---

### 3. 重量物運搬

連続NO	地区名	性別	年齢	平成	年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
115	新潟県	1	64	24	10	1	5	月	米の保管庫清掃作業で、米袋(30kg)を持ち上げるときに腰のヘルニアを起こす。米袋を移動するときは玄米キャッチャーを使っているが、米の保険庫では使えなかったため手で持ち上げていた。	以前ぎっくり腰になっているので気をつけていた。しかし、一番下の米袋を持ち上げるときに姿勢が悪かった。	米を移動するときは玄米キャッチャーを使い、手で持ち上げなければならぬときは従業員に頼む。	従業員の手を借り自宅に行き布団で休む。1週間後に医者に行く。手術後様態がよくないので別の病院で手術をする。	腰のヘルニア	入
116	富山	1	48	23	10	1	4	木	仕事中、作業上で30kgの米をパレットに積んでいる時、米が崩れそうになり、左手でささえたと際受傷	作業量が多く、頻回に同一作業による酷使	もう少し滑らない米袋、あるいは手袋の改善が必要	親指の腱が切れたと思ったが、10日間我慢。伸びた腱を手首に結びつけるOpe。	左母指CM関節靭帯断裂 両母指CM関節症	入
117	富山	2	53	25	5	7	土	道路に置いた苗箱を、水田の6mの法面に並べていて、滑って1.5mの高さの位置から、滑り落ち、脚の骨を折った	傾斜約30°ときついところを少し濡れており、また何枚もの苗箱を並べていて、滑った	田を少しづつすくらのつもりで、苗箱の設置位置を設ける事も必要	足がブラブラ状態、夫に搬送してもらおう。職場復帰後もしばらく松葉杖。	右下腿部、複雑骨折	入	
118	北海道	1	50	24	5	1	火	被害者がトラックの荷台に上がりラジコンを操作して、積んでいた化成肥料500kg入りフレコンバッグをクレーンで持ち上げたところ、フレコンバッグが被害者の腹部から胸部にかけてぶつかり、荷台アオリ上端から1.4m下のほ場に転落した。	□十分な照明がない中、夜間作業を行い、ワイヤが斜めになっているのに気がつかなかった。 □予定通りに作業が進まなかったため、焦っており、疲れていた。	・播種作業を行うときはヘルパーを雇うことにし、自分は播種作業に専念して時間的余裕を作るようにした。	翌日、病院に向かい、手術を受けた。2週間で退院した。安静の指示に従わず軽作業を行ったために再手術した。	左肩靭帯断裂、左鎖骨脱臼	入	
119	富山	1	51	23	10	7	水	運搬台車にローラーを乗せようとして、左手親指をはさむ	元々、苗箱用の台車にローラーを乗せようとして、幅など狭く、無理をした	「ちょっと乗せよう」と手順を考えずに乗せていた。	自転車にて近医受診、2針縫合、その後通院3回	左母指切創、圧迫	入	

120	兵庫 県	1	52	21	4	10	月	レタスを収穫し、コンテナに入れて農道に停めた軽トラックに積み込むため、圃場と農道を渡したブリッジを渡ろうとしたが、足を踏みはずし2m下の水路に転落した。	コンテナを3つ一度に運んだため前方が全く見えなかった。・翌日の天気予報が雨のためあせっていた。	レタスの栽培面積を少し減らし、軽トラックを圃場内へ乗入れることでブリッジを渡る作業をなくした。	事故発生から15～20分で一緒に作業していた奥さんが気付き病院へ連れていった。	左肋骨骨折 左膝打撲	通
-----	---------	---	----	----	---	----	---	--	---	---	---	---------------	---

### 3. 重量物運搬

連続 NO	地区 名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
121	岩手 県	1	60	23	8	11	祭	午前6時頃からカメムシ防除をし、朝食を取った後も同作業を行っていた。作業後自宅に戻りタンクに残った水を抜くために、1tonトラックの荷台下に木を挟もうとしてタンクの片側を素手で持ち上げたが、タンクの取っ手にかけた手が滑って、70cm程の高さから真後ろに倒れ、後ろ向きに荷台からアスファルト路面に落ちて頭を打った。	トラック荷台の動噴を固定していたロープをほどかず、更にあおりを降ろさずに作業したので、荷台の狭いスペースでの作業になってしまった。	ロープをほどいてあおりを下げる。複数人で注意しながら作業する。	落下直後は作業場で少し休憩、その後昼食をとり自分で県立病院に電話し、1時半頃、息子の運転で救急外来へ。外傷は2針縫合、右肩、右肘の打撲は湿布をした。一週間後(22日)の診察で完治と言われた。3ヶ月後の10月中旬頃から意識障害が発生し、11月19日午前10時頃、別の県立病院の救急外来に行くも、診察を待っている間に意識が無くなり慢性硬膜下血腫で入院1週間、通院は合計7日間。	後頭部の打撲と切創、右肩、右肘の打撲。3ヶ月後に慢性硬膜下血腫発症	入
122	長野	1	76	24	12	15	水	借用地の畑で軽トラックにスコップをで土を無理な体勢で乗せようとして右肩を痛めた。	後方から人に声をかけられ、振り向きざまに乗せようとした。	さほど重くないものでも姿勢をしっかりと保った上で運搬する。	3日ほど様子を見てから接骨院を受診。なかなか直らない。	右上腕二頭筋腱挫傷	通
123	三重	1	30	25	9	1	月	コンバインのキャタビラの土、トラクターのロータリーの土落としを倉庫のコンクリート床で行っていた。土は角スコを使い、ポリの箕にいれて畑に運んだ。往復を20回くらいし、箕を持ち上げたとき、腰がぎくっとなって、その後、動けなくなった。	水の混じった重い土を箕に入れて、こぼさないようにと気を使いながらの運搬で腰に負担がかかった。	重いものを持ち上げるときに腰を下ろして力がかかるようにしたい。手だけで持ち上げると腰を痛めやすい。腰痛症が発症したのは今回が初めて。日常的には腕立て伏せや腹筋等をしているが、背筋を鍛えるような運動をしている。	なんとか家に戻り、横になっていた。夜も痛みで、眠れず翌朝母親に連れて行ってもらい病院受診。CTを撮ってもらったが特に問題がなかった。痛み止めを処方されたが、4日間痛かった。	腰痛症	-

124	島根	2	69	26	3	9	火	ハウスの野菜に少し水をあげようとしたが、凍結防止のために水道の栓が閉めてあったので、対岸まで行って6Lのジョウロに水を汲み、法面を降りようとして、滑って転んだ。	法面が50度と急なので斜めに降りようとしたが、地面に霜があり、またバラスが散らばって滑りやすかった。	給水ポンプなどの設置や予め水を貯めておき、凍らないように発泡スチロールなどで保温するなどの工夫が必要。	一日置いて診察を受けた。外傷をないが内出血あり。	左手首挫傷、筋断裂	-
-----	----	---	----	----	---	---	---	--	--	---	--------------------------	-----------	---

## IV. 大規模畑作

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
125	北海道	2	47	23	9	9	水	畝脇の石礫をどかしていたとき、ポテトハーベスタが急に動き出してタイヤに右足を轆かれた	被害者に合図しないでトラクタを動かした	トラクタが完全に止まるまでポテトハーベスタに乗らない・降りないようにしている	被害者の妹が病院に連れて行き、診察を受けた	右足甲の打撲	通
126	北海道	2	52	24	4	1 6	日	春蒔き小麦の播種作業中、種子ホップ内の残量が少なくなり、欠株の恐れがあったため、被害者が播種機に乗ってホップに手を入れて種子が残っているところから、残り少ないところに均していたところ、アジテータに軍手が引っかかり巻き込まれた。	□ 作業中には播種機に乗るべきではないこと、駆動中の回転部に手を入れてはいけないといった、適切な作業方法が定められていなかった。	・作業中に播種機には誰しも乗せないよう徹底し、種子の残量もトラクタ運転者自らが機械を止めた後に確認するよう改めた。	すぐに夫の運転で役場まで行き、そこで待ち合わせた救急車に乗り換えて病院に向かった。	右手第4・5中手骨開放骨折、右橈骨茎状突起骨折	入
127	鹿児島	2	30	23	10	1 5	火	サツマイモ掘取機に補助者として乗車、運転者が収穫したサツマイモのバックを地上に降ろし、バックをかける部分を戻したとき、補助者がその部分についている土を落としていて、戻った機械の間に挟まれ、右中指骨折。	機械操縦者の位置からは、補助者の手元が見えず、死角となっていた。	雇用している中国人に、ある一定の時間事前講習が必要である。また、補助者の動きが機械操縦者に見える構造の機械開発も課題。	本人は、「大丈夫」と言っていたが、表情が青く、雇用主がすぐに医院に連れて行き、レントゲンを撮ってもらったところ、右中指基節骨が骨折しており、近くの総合病院を紹介された手術。 現在、中指は十分に反り返らないが、日常活動に支障はない。	右中指骨折	入

## V. 生き物

連続NO	地区名	性別	年齢	平成年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
128	新潟県	1	59	24	10	17	水	土蔵の蜘蛛の巣を払うため竹ぼうきを取ろうとしたとき、土蔵に巣を作り潜んでいたキイロスズメバチに刺された。	7月頃からスズメバチが飛んでいたため、いつか巣を処理しようとスプレーを買っていた。しかし、処理をしないままになっていた。	業者に頼んで、蜂の巣を処理してもらった。	自分で運転して近くの薬屋さんに行ったが、「医院で治療せよ」とのことで妻の運転で医院に行き治療する。	右眉の上の蜂刺され	通
129	富山	1	58	22	10	8	火	リンゴ園で徒長枝の選定中熊に襲われた	その年は、市街地にも熊が出没しており、また熊目撃情報もあり、上空でヘリコプターが熊発見のため飛んでいた。熊もパニックしていたのかもしれない。	山から20kmもある場所であるが、川沿いは草むらがあり、降りてきたと思われ、その後市で川原の草刈りをしてから出没は少なくなった	自宅に戻り、救急車要請、自宅から10分の総合病院にて縫合等治療、熊は病気を持っている可能性があるとの事で、9日間点滴続ける。	頭部、両前腕、耳部、手指挫滅創	入
130	鹿児島	1	44	24	6	8	火	肥育用牛舎で、親牛を移動するためパイプ柵を移動した時、パイプの中に隠れていたハブに咬みつかれた。	仕切り用の鉄パイプの穴にハブが潜っており、動かしたときに咬まれた。パイプの中にいるとは想定外。	受傷後、パイプの穴という穴を全て空き缶などで詰めて、ハブが入り込まなくした。農業労災への加入の必要性を痛感した。	病院では、すぐに切開し血清を注射、毒を手で絞り出してくれた。その後、3週間入院。その間、左胸と背中、左腕がぼんぼん腫れた。入院中は神経の回復をよくするための高圧酸素療法を行った。その間熱は出なかった。3週間後ようやく腫れが引いて退院することができた。	ハブ咬傷	入

## VI. 熱中症

連続NO	地区名	性別	年齢	平成年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入通院
131	富山	2	57	24	7	9	月	8時半から30分程後、花の水やりをしていた。その後嘔気、倦怠感出現	家の改築時に屋敷林を切っただけで、また部屋も一番日の当たる部屋で日常休んでいた	エアコンを夜の途中で切らないうちに、また葎などの覆いをする。	筋肉のけいれんは無かったが手が冷たくなった。3日目からようやく食べられるようになった。	熱中症	入
132	鹿児島	1	77	24	7	12	火	水田畦畔の草刈り中、休憩を取りつつ行っていたが、熱中症となる。	何日間か休んだ後、久しぶりに作業を行い始めた初日に発症した。体が暑さに慣れていなかった。	体が暑さに慣れない時期に発生しているため、体調を考慮しつつ、作業計画を立てる必要がある。	しばらく横になって休んだが良くならないので、娘が「大変」と救急車を呼んで、家から5～6分の医院に搬送し点滴をしてもらった。3時頃には気分も良くなったが、「1泊してください」と言われ入院し、翌日3時頃退院した。	熱中症	入

## Ⅶ. 畜産関係

連続 NO	地区 名	性 別	年 齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
133	北海道	1	44	11	9	1 3	一	ロールベアラの成形室を駆動するチェーンにゴム手袋にグリスを付け、動いているチェーンに塗りつけていたところ、チェーンの継ぎ手の割ピンに手袋が引っかかり、スプロケットとの間に右手が挟まり、指4本を失った。	・機械が動いた状態で手で直接チェーンに触った。 ・多忙で天候が気になり焦っていた。	・機械整備は動力を止めて行うことを徹底した。 ・一日の作業日程に機械整備の時間を必ず設けるようにした。	友人の運転で病院へ行き、手術を受けた。被害者の父親が切断された指を持ち込んだが、縫合することはできなかった。	右手第2～5指第3関節切断	入
134	北海道	1	40	25	6	1 2	土	トラクタのエンジンをアイドリングにしてロールベアラを動かしながら、チェーンに注油していた。チェーンがたるんでいるように見えたため、思わず左手でチェーンを下側から触ったところ、継ぎ手の割ピンが手袋に引っかかり、スプロケットに挟まれた。	・機械が動いた状態で手で直接チェーンに触った。 ・作業が遅れ焦っていた。	□ チェーンは回しながら注油せざるを得ないが、絶対に手を触れないようにしている。	近くの病院で検査して大きな病院に転院したが週末で担当医がおらず、週明けに再受診した。	左手第3指先端欠損	通
135	広島	1	30	25	5	1 3	土	小型ロールベアラで畦の草を集めていた。お昼を過ぎたがもう少しで終わると思い作業を続けた。たまたまベアラから草がこぼれ、水田に落ちたので、水田に足を入れて取り、再度乗車して運転しようとしたとき、足が滑り、トラクターもろとも14m下の河原に転落	水田に足を入れて草を拾ったときに、足が濡れて滑りやすくなっていた。畦が狭く、ちょっとした操作でハンドルが切られてしまったのかも知れない。	狭い畦だったので、機械を使わずに、手で草を集めても良かった。靴は滑りにくい溝の深いものを使用するようにしたい。防水用の携帯電話を持っていたことが命を救った。	携帯電話で家に電話した。母親が軽トラで駆けつけられたが、現場を見て父親を呼び河原から這い出て軽トラに乗って消防署に行き、救急車で病院に搬送。その頃から息が苦しくなった。	右足の足首の外顆・内顆骨折、胸椎2本骨折、肋骨骨折。肺に突き刺さり、左肺気胸。	入
136	北海道	1	33	24	9	1 4	日	8条刈自走式フォレージハーベスタでデントコーンを収穫作業中、収穫部が詰まったため、エンジンをアイドリング回転にした状態で詰まったデントコーンを引いたり押ししたりしながら、奥に押し込もうとしていたところ、左足が収穫部に巻き込まれた。	□収穫部に詰まったときの除去方法手順が定められていなかった。 □オペレータが席を離れると、自動的に収穫部が停止する安全装置が装備されていたが、無効化されていた。	・詰まり除去作業を行うときのエンジン停止を徹底した。また、安全教育や危険予知活動を定期的の実施している。さらに、新人向けに作業手順書を作成し、指導の徹底を図っている。	レスキュー隊の工具では歯が立たなかったため、仲間が現場に急行し、2時間かけて分解して救出した。	左下腿切断、左大腿部挫裂創	入

## Ⅶ. 畜産関係

連続NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
137	岩手県	1	48	4	12	11	木	ロールベールを牛舎脇に3段に積み上げていた。一番下のロールにあった穴を補修していたところ、トラクタ運転手がベールグラブを堆肥舎の壁にぶつけたはずみで最上段のロールが落ち、下敷きになった。	ロールの3段積みは危険なのでやめるよう進言したが、作業者の意思疎通が出来ない状態だった。ベールグラブを装着したトラクタで、全長が長くなり滑りやすく狭い場所での運転操作が難しかったと思われる。雪でロールも床も滑り易かった。	事故の状況を踏まえ、家族に安全指導を行った。事故のあった場所には屋根を掛けた。委託作業はやめて息子等家族の応援により作業を続けている。	奥さんが救急車を呼んだ。20分程で救急車が来て、病院へ搬送された。検査後すぐ入院、肋骨はほとんど折れたものの、幸い肺には傷がつかなかった。る	鼻骨骨折、頸椎捻挫、肋骨骨折、左足脛骨複雑骨折、歯が5~6本折れた	入
138	北海道	1	60	25	4	1 1	金	パークリーナのミッション付近に引っかかったわらを取りにフォークを片手に登り、取り除いて降り始めたところ、つま先がスクレーパの下に入り込んでつまづき、頭から約4m下の堆肥盤に落下した。	・ミッションに登る際に必要な手すりや足場等を適切に設置する対応がなされていない。	・丸パイプで手すりを自作して設置した。	妻が救急車を呼び入院。6日間意識不明。アゴや頭内血腫の手術で計3回入院した。	頭蓋骨骨折、アゴ骨折、左手首剥離骨折	入
139	広島	1	19	25	6	1 5	水	畜産農家で事業主がバケツでビール淬をすくい上げようとしたとき、バケツの前にいてビール淬を包んであった袋を取ろうとして、足をだし、バケツとコンクリー壁に左足を挟まれ、切創。	二人の呼吸が合わず、いつもの動きとは違った。また、壁があり、足の逃げ場所がなかった。	バケツには運転席からの死角があり、相方の足の位置は見えなかった。ビニールをうまく外すためにタイミングが大切だが、いつものコンビとは違ったために、事故に繋がったと思われる。	すぐに事業主が家に帰り電話し、救急車を要請。約15分で到着、約1週間休業。	左足切創	-
140	岩手県	2	49	21	1	11	火	牛舎の3階にあるワラを2階に降ろす作業中、一輪車に積載したワラもろとも2階に落ちて着地した左足の大腿骨と腓骨を骨折。	単独作業であったこと、次の作業が気になってやや急いでいたこと、作業現場が狭いことなどがあるが、一輪車に稲わらを過積載したことも大きく影響している。	一輪車への稲わら等の過積載をしない。	動くことができず、しばらくして「昼だよ」と呼びに来た娘に、夫を呼ぶように伝えた。夫と息子に下に降ろしてもらった。夫の運転で受診、4日後に手術して43日入院、リハビリのため4~5回通院。重量物取扱いができず、時折不自由を感じる後遺症あり	左大腿骨骨幹骨折（単純骨折）、左腓骨骨折（単純骨折）	入
141	北海道	2	57	24	10	6	木	朝の搾乳を始めて間もなく、待機場からパーラーに牛が入って来なくなったため、被害者が牛がひしめく待機場に入って持っていた棒で牛をパーラーの方に促していたところ、背後にいた牛がぶつかり、よろけて右手を強く床に着いてしまった。	□牛が密集している待機場に一人で入ってしまった。 □床に倒れると牛に踏みつけられると思い、右手で強く突っ張ったため、手首に負荷がかかった。	・一人では待機場に入らないようにした。また、蹴り癖のある牛や病気の牛などに色違いのマークを足首に巻いてわかりやすくしている。	救急車を含め、複数の病院に対応してもらえず、2時間後にやっと受け入れてもらい、1週間後に手術を受けた。	右手首骨折、神経損傷	通

## Ⅷ. 牛、馬の事故

連続 NO	地区名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
142	北海道	1	46	23	7	6	日	被害者が朝の搾乳作業を手伝わせるために呼んだ小学校高学年の子供2人が、被害者が搾乳中の牛のすぐ近くで大声で挨拶したため、牛（体重約600kg）が驚いた拍子にしゃがんでいる被害者の左腿付け根を踏みつけ、つぶされるようにして左足首を捻った。	□子供を牛舎に入れることについて必要な対策が検討されていなかった。 □牛舎内での注意事項を子供達に十分に伝えていなかった。	・子供達に牛舎内での注意事項を指導した。	車で病院に向かった。医師から入院するよう言われたが、多忙なのでギプスで固定措置をしてもらい帰宅した。	左足踵骨折	通
143	岩手県	1	60	21	6	8	一	朝の搾乳時、フリーストール牛舎から搾乳室に追い込む途中にある水飲み場で牛が動かなくなったため近くに寄って追い立てた際、牛に囲まれる形になり、一頭の牛の後ろ足で左足第V指の外側を踏まれた。	事故現場付近に水飲み場があり、通路が狭くなっているため、牛が滞りやすくなっている。	牛の通路を改善する（水飲み場を置かない）。作業靴として安全靴を履く。	痛みを我慢して夕方まで搾乳した。夜に足が腫れて黒変し、痛みと寒気で眠れなかった。翌朝の搾乳時は足が長靴に入らない程腫れていた。10時頃妻の運転で町立病院に出発、昼頃に診察を受けたが、骨には異常がなかった。	左足第V指圧挫傷	通
144	神奈川県	1	62	25	8	1 2	日	配合飼料を牛に給餌をしていたら、繋ぎ飼いの乾乳中の牛が首を伸ばし、あごで台車を引き寄せた。止めさせようと牛の頭を叩いたが、引きずられて台車と柱の間に左手小指を挟まれた。	手袋をせずに作業をした。乾乳中の牛にとっては美味しいと感じる配合飼料を、少し撒き餌として与えておけば良かったと本人の弁。	台車の面取りははされておらず丁度台車を押さえた場所は、縁が鋭かった。農作業現場の作業用具に、他産業と同様な面取りの考え方が必要と考えられ、また柱などもクッションのある素材を保護具として使うなどの改善が必要。	夕方になっても痛みが引かなかった。当日は日曜日であり、一晚我慢して、翌日整形外科を受診。レントゲンで左小指の先端部が骨折をしていた。3週間後、再検査、一応完治したとされたが、朝方に痛みを感じる。	左手小指先端部骨折	一
145	岩手県	2	57	25	7	6 と 1 7	木	朝、仔牛が生まれた牛房に入ったところ、親牛に転ばされて角で数回突かれ、通路に飛ばし出された。17時頃、ポロ出しのため牛舎に行き、給餌槽前の鉄柵に親牛の頭をロープで固定しようとしたところ、牛房内に引っ張られて給餌槽の反対側の右隅で何十回も突かれた。	当該牛が産後に凶暴になるという認識が薄れていた。単独作業であった。手綱を離せずに握りしめてしまった。	普段から牛をいじめないこと。	朝の事故後胸付近の痛みが続き、外科医院受診、骨に異常無く鎮痛剤と湿布処方。夕方事故では左腕と左脇腹に内出血。息をするだけで痛むため翌朝外科医院を再受診。骨に異常なく痛み止めを処方されたが痛みが引かず、左半身のあちこちに内出血。翌朝、町立診療所の外科を受診、痛み止めの注射とサポータ。	胸部および左腕と左脇の打撲傷	通

## Ⅷ. 牛、馬の事故

連続 NO	地区 名	性 別	年 齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
146	岩手県	1	45	13	3	15:00頃	日	牛の角にロープを掛けて引きながら、牛舎に入ったところ、牛が面白がって頭を振った。対面しながら前に引いたところ、左足の股間の下の太ももの所に、牛の右の角が横から入った格好になり肉がえぐられた。	向かってくる牛ではなく、安心（油断）していた。夕方から黒毛和牛の給餌等の仕事があるので、少し時間的な余裕がないと思っていた。	警戒を怠ることなく油断しないように気をつけて作業する。	事故時には肉が裂けているとは気づかず、4時頃湿布しようと思ひ足を確認したところ、肉が裂けて大腿骨も見えていたので、午後4時30分頃、自分の車を自ら運転して自宅を出発し、5時頃県立病院着、日曜日だったが、すぐ診察し10数針縫合され午後7時頃、車で自宅に戻った。	左太腿の切創	入
147	岩手県	2	66	14	3月と4月	15	一	1回目：3月中旬、牛房から子牛の餌場に餌を運んでいたが、子牛に後ろから頭で腰を突かれて飛ばされ、給餌槽に左の肋骨を打ちつけた。 2回目：4月上旬、1回目の事故の退院から数日後、一度目と同じ作業中に、喧嘩をしている2頭の子牛がぶつかって来て突き飛ばされ、同じく肋骨をぶつけた。	1回目、2回目共に油断していた。1回目の事故の後、安全管理について徹底しておくべきであった。	子牛の餌場が開放型になっていたので、餌を運ぶときは牛をつないでおく等の処置をしておくべきであった。	1回目：事故後は、その後の作業を休み、翌日の午前病院に電話連絡をし診察を受けたところ、左の肋骨1本にひびが入っていたため2週間入院した。 2回目：事故当日は痛みが軽かったが、1週間ほどしてから痛みが出て動けなくなり、病院に電話した。午前中に病院に行き、レントゲン撮影の結果、肋骨が3本折れていたため、そのまま1ヶ月ほど入院した。	1回目は左肋骨部にひび、2回目はほぼ同じ位置の骨折	入
148	滋賀県	1	37	23	10	18	水	出荷して空いたマスに隣りのマスに入れていた牛を移動していた。柵の傍のある牛の横に立っていたら、別の牛が走ってきて、「あっ」と思ったときにはぶつけられていて、走ってきた牛と横にいた牛の間に挟まれた。	いつもは違うマスにいる牛を同じマスに入れたため、夕方でもあり、牛が興奮して、走ったこと。また、油断して牛に背を見せて作業したこと	牛が不安定になる夕方には、牛に近づいての作業＝移動・牛舎床の清掃などをしないようにした。	右上肢だけで無理に運転し帰宅後、親の運転する車で近医を事故1時間後に受診、翌日に手術。入院は10日、1年後にボルト除去手術。	左鎖骨の骨折	入
149	滋賀県	1	33	1	10	11	日	隣の牛舎で和牛の出荷の手伝いを頼まれた。牛舎から出荷待機場まで、牛に鼻環とロープをつけて、牛の左斜め後でロープを持って移動していた。牛が突然走り出したが、ロープを離さなかったため、前に強く引かれて転倒して、胸を打った。	本人は和牛に慣れていなかった。隣の牛舎は逃亡防止柵がなく、引っ張られても、ロープを放せなかった。	牛の移動のときは、逃亡防止の柵をしてから、作業する。ロープを繋いで引っ張られたら、ロープを放す。	すぐに妻の運転する車で近くの休日救急診療所に行ったが、何もされず。別の病院で2本の右肋骨骨折判明、痛み止めか湿布を処方	右肋骨を2本骨折	一

## Ⅷ. 牛、馬の事故

連続 NO	地区 名	性別	年齢	平成 年	月	時	曜	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入 通 院
150	滋賀県	1	39	26	1	8	木	出荷待機場場でブラシを使い牛体の洗浄をしていた。牛が少しフラフラしていたので、自分の体を密着させ牛を押さえつけるようにして洗浄をしていたところ、右足の先を牛の後左足で長靴の上から踏まれ、そのまま後ろに倒れた。	牛にはよく蹴られたり、踏まれたりするのに、安全靴を履いていなかった。	軽くて、靴甲へ脱着できる保護具が望まれる。	当日に整骨院に一人で行って済ませたが、3日しても出血と痛みがひかなかったため、近医受診して、粉碎骨折が判明、当て板固定と3日分の痛み止めの処方	右足第四趾末節骨の粉碎骨折	通
151	滋賀県	1	54	22	不明	1 2	一	牛（ホルスタイン）を出荷場に連れて行き、出荷のために牛体にブラシをかけて洗浄していたところ、右膝の外側を後ろ足で強く蹴られた。	当日、当事者は急いでいたので、ブラシのかけ方が荒かったこと	牛は人のあせりや不機嫌などにも敏感であるので、ブラシがけを丁寧にする。出荷待機場場を改良して、牛と自分との間に柵をはさむようにした。	妻が運転した車で医療センターに行き、レントゲン撮影するも明確な診断が付かず、血を抜いたのみ	右膝外側靭帯損傷	一
152	宮崎	1	44	24	7	1 1	金	肥育牛舎（7.2×7.2）の4頭を隣の牛舎に移し替えて、堆肥を排出しようとした。出口の約30kgの鉄棒を持ち上げようとした時、発情した牛約420kg（2～3歳）が突然仁王立ちとなり鉄棒に乗りかかってきた。丁度持ち上げようとしたところだったので、鉄棒に一気に荷重がかかり、その場にごくんとへたり込んだ。	出口の鉄棒が重く、突然の牛の行動に反応できなかった。	出口の鉄棒を持ち上げる形ではなく、スライド式にすることで余計な重量の負担は軽減される可能性がある。	とにかく痛みを我慢して作業を続け、午後から自分で整形外科を受診、急性腰椎症。注射を打ってもらい帰宅。以前から持っていたコルセットをしてしのいだ。	急性腰椎症	一
153	宮崎	1	45	25	6	1 1	土	牛をつないで左前脚の削蹄を行っていて、牛が動く際、削蹄鎌で左手親指を切った。	187mc、85kgという体格に自信があり、牛の前脚は杵にちょっと縛り、自分で削蹄を行っている。	後足の削蹄は蹴飛ばされる可能性が高いので、しっかりと杵に脚を縛って行う。前脚も同様な配慮をする必要がある。	自分で病院へ行き受診。数針縫ってもらった。	左手親指切創	一
154	岩手県	1	58	25	6	14	一	馬を市場に出すために、事故当日午後自宅の道路向かいにある減反中の水田（草地）で、妻が馬の手綱（4～5m）を引いて、円形の中心に位置して調教をしていた。馬が何かに驚いて急に暴れたので、妻が手綱を離してしまった。馬は自分に向かって走ってきて、体当たりされた。この間1～2秒ぐらいで、あっという間だった。	馬の進行方向に立っていた。一瞬の出来事で身動きが取れなかった。	調教時は夫婦がお互いに確認し合い、気を付けるようにした。馬との間隔を長く取るようにした。馬と家の間ではなく、家と反対側に立つようにした。	馬を厩舎に入れ、妻の運転により自家用車で県立病院を受診した。すぐに診察され鎖骨骨折の診断。タスキバンドを掛けられたが、固定していないため接骨できず、1週間後に手術を受けた。7日間入院、その後10日に1回のペースで通院している。	左鎖骨骨折、左体側部打撲	入